

大阪府臨床工学技士会



たより

第12号

編集:大阪府臨床工学技士会 編集委員会
発行:大阪府臨床工学技士会 事務局

新年のご挨拶

大阪府臨床工学技士会
会長 村中 秀樹

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

大阪府臨床工学技士会は、今年一般社団法人となる予定でございます。これは設立時以来の課題であった公益社団法人へ移行するための重要なステップであります。

行政や他団体に対しての発言力を強力にし、臨床工学技士の地位の向上や働きやすい環境を構築するためにも、公益法人になることは重要でございます。

この目標を実行するために、会員の皆様におかれましては今後ともぜひ大阪府臨床工学技士会総会および日本臨床工学技士会総会へ出席いただきますようお願いいたします。

技士会の最終決定機関は総会です。会員の皆様方おひとりおひとりのご意見を届けていただき、技士会の更なる発展に関わっていただくために、ぜひ総会へご参加いただきますようお願いいたします。

皆様のより一層のご協力をお願いいたします。

最後になりましたが皆様のさらなるご活躍とご健勝を祈念申し上げます。

たより 目次

Table with 2 columns: Item and Page Number. Includes items like '新年のご挨拶', '第13回大阪府臨床工学技士会学術集会開催報告', etc.

## 第13回 大阪府臨床工学技士会学術集会 開催報告

集会長 山邊 一元  
(大野記念病院 臨床工学科)

平成20年11月16日(日)、中外製薬株式会社 会議室におきまして第13回大阪府臨床工学技士会学術集会を開催いたしました。『臨床工学技士のスキルアップ ～より専門化する臨床工学技士の将来～』をテーマに各方面でご活躍中の先生方をお招きし、医療業界の専門化から、臨床工学技士業務の専門化、また、今年度より実施される「専門臨床工学技士制度」に至るまで、様々な切り口から学びました。166名の参加者がありましたが、昨今、話題の内容ということもあって大変盛況な会となりました。

基調講演では本学術集会のテーマである「臨床工学技士のスキルアップ ～より専門化する臨床工学技士の将来～」について日本臨床工学技士会 常務理事 松阪淳先生にご講演頂きました。専門認定の発足から、取得方法、今後の展望に至るまで我々、臨床工学技士にはとても興味深い内容でした。



シンポジウムでは、「より専門化する医療職種の現状と展望」と題しまして、基調講演から引続き松阪先生、他の医療職種から日本腎不全看護学会理事長 水附裕子先生、体外循環部門からりんくう総合医療センター市立泉佐野病院 瀧脇栄治先生、循環器部門から桜橋渡辺病院 前川正樹先生、教育部門から大阪医専 泉暢英先生の5名の各方面で活躍されているご高名な先生方をシンポジストとしてお迎えして、より専門化していく医療職種についてディスカッションを頂きました。松阪先生には、基調講演の内容に加え、スライドも多数追加して頂き、より内容の濃いお話を聞くことができました。日本腎不全看護学会理事長 水附裕子先生には他の医療職種として、すでに先立って発足され、ますます発展している透析療法指導認定看護師制度についてお話を頂きました。今後の臨床工学技士専門認定制度の参考モデルとできるような内容のお話でした。また、各専門分野からは、体外循環部門からりんくう総合医療センター市立泉佐野病院 瀧脇栄治先生と循環器部門から桜橋渡辺病院 前川正樹先生に臨床からの興味深いお話を頂き、更に教育部門から大阪医専

泉暢英先生には、これから育っていく新世代の臨床工学技士の方向性についてそれぞれ内容の濃いお話を聞かせて頂き、テーマである「より専門化する医療職種の現状と展望」について有意義なディスカッションの場として頂きました。



また、ランチョンセミナーではトピックスとして「透析患者の心血管合併症対策」について関西医科大学附属枚方病院 腎臓内科准教授 森本聡先生にご講演頂きました。森本先生ならではの学生参加や若い世代の臨床工学技士にも分かりやすい解説で興味深いご講演でありました。

午前のセッションでは、一般演題Ⅰ（臨床工学技士養成学校生）では2演題、一般演題Ⅱでは10演題と多数の施設から多数の演題発表があり、新しい交流の場、意見交換の場になったのではないかと思います。

今回のテーマの『臨床工学技士のスキルアップ ～より専門化する臨床工学技士の将来～』については、ますます専門化、高度化していく医療業界の中で、臨床工学技士としての知識、技術などの単なるスキルアップのみならず、生涯教育として、自分自身が臨床工学技士、医療人として成長していく大きな意味でのスキルアップであるべきだと考えます。この学術集会が今後このような制度が充実し、皆様のスキルアップにお役に立てるよう、きっかけとなれば幸いです。

最後になりましたが、講師の先生方、ご参加いただきました皆様、そしてご協力頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。





## 公益法人化に関する説明とお願い

大阪府臨床工学技士会  
法人化対策委員長 野口 浩一

平素より大阪府臨床工学技士会の活動にご賛同、ご協力をいただき誠に有難うございます。会員の皆様はすでにご周知のとおり、当会は以前より**臨床工学技士の社会的認知・職場環境の整備や地位向上**を目的として「公益社団法人格」取得に向けて活動を推進しておりますが、法人格取得にいたっていない**任意団体**（公的許認可を受けていない団体）であるため**社会的認知と権利能力および発言能力**を有しておりません。

しかしながら、公益社団法人を取り巻く環境に変化があり2006年6月に**公益法人に関する3法**が公布され「新法 公益法人法」が施行されることとなりました。

それに伴い「一般社団法人法」の併設により申請・認定・監督方法が抜本的に改正され、法人格取得までの具体的な過程の道筋が示されたことは、法人格取得への絶好の機会であることは言うまでもありません。

当会では本年度より「法人化対策委員会」を設置し、公益社団法人取得に向けての実質的な活動を開始しています。会員の皆様へ公益法人取得に関するご理解をいただくための説明文を作成いたしましたので、法人格取得に向けてのご理解とご賛同を賜りたく存じます。

### ◎公益社団法人とは

学術、技芸、慈善、祭祀、宗教その他の公益に関する非営利事業を通じて不特定多数の者を対象とした地域に貢献する法人であり、法人格を取得することにより社会的認知度が得られ助成金や寄付金を受けやすくなり、税制上の優遇を受けることができます。

当会の公益法人格取得目的の第一は社会的認知を受けて社会的信用を得ることであり、臨床工学技士の存在意義を知らしめる事により行政及び医療界においての地位向上を目的とします。

※新公益法人法でも上記の内容の変更は無く、取得方法や監督制度のみの変更が主となります。

### ◎公益社団法人認定基準

- ① 不特定多数の利益の増進に寄与することを目的とする公益事業を主たる目的とすること。
- ② 公益事業実施に必要な経理的・技術的能力を有すること。
- ③ 社員・役員等の特定の者に特別の利益を与える事業を行わないこと。
- ④ 営業事業を営む者、又は特定の個人若しくは団体の利益を図る活動を行う者に対し、寄付その他の特別の利益を与える行為を行わないこと。
- ⑤ 公益目的事業の比率が100分の50以上であること。

※公益性すなわち公益目的事業を行う能力とそれを運営する財務状況であるかが求められます。

### ◎新公益社団法人制度とは

今回の法律制定で公益法人の認定制度が大きく変わり公益の認定を受けた非営利法人（公益社団法人）とその他の非営利法人（一般社団法人）という大別して2つの制度ができました。

「簡素で効率的な政府を実現するため」の行政改革の一つに位置づけられ、国から検査、認定、資格付与などの委託や推薦を受けている公益法人を見直す支出削減の目的があります。

従来の公益法人の設立に係る主務官庁の許可主義を改め、法人格の取得と公益の判断を分離することとし、公益性の有無に係らず準則主義（登記）により簡便に設立できる一般的な非営利法人制度です。

各官庁の裁量により公益法人の設立許可などを行う主務官庁制を抜本的に見直し、民間有識者からな

る「公益認定委員会」が内閣府にまた、合議制機関が各都道府県に設置され、内閣総理大臣または都道府県知事が認定を行います。

### ◎公益社団法人格取得順序

- ① 現技士会の「臨時解散総会にて解散」と新たに設立する「一般社団法人大阪府臨床工学技士会」への現有残余財産の寄付（譲渡）を議決します。
- ② 一般社団法人を登記申請し、「一般社団法人大阪府臨床工学技士会」を設立します。
- ③ 公益社団法人へ移行準備のため、公益目的事業 100 分の 50 に見合う事業内容の変更と実施を行うとともに、公益事業を実施するに十分な財務状態の改善（事業収入の確保）を行います。
- ④ 大阪府知事へ公益社団法人申請し、合議制機関により公益性と運営状況の審査を受けます。
- ⑤ 公益性と健全な運営状況が認められれば大阪府知事により公益社団法人が認定され、「公益社団法人大阪府臨床工学技士会」の設立となります。

任意団体である当会は、直接公益社団法人の取得はできません。  
一般社団法人設立してから初めて公益社団法人の申請資格を持つことができます。

### ◎一般社団法人とは

- ① 一般社団法人を設立することにより団体としての「格」が上がりますが「定款/監査」にもとづく自主運営管理が求められます。
- ② 財産の法人への完全分離となり、国民から金銭的に透明な団体と認知されます。
- ③ 社会的認知が得られますが公益法人ほどの社会的信用は得られません。
- ④ 公益社団法人格取得において、一般社団法人格取得は必須事項となります。

### ◎会員の皆様へお願い

一般社団法人設立に向け、現在の大阪府臨床工学技士会を**解散**し、技士会が保有する残余財産を新たに設立する一般社団法人へ**譲渡・移行**を議決する必要があります。  
解散・譲渡の議決総会の折には、会員の皆様のご出席と「一般社団法人大阪府臨床工学技士会設立・譲渡」に対してのご理解とご賛同を心よりお願い申し上げます。

---

## 大阪府臨床工学技士会 学術委員会報告

大阪府臨床工学技士会  
学術委員長 荒川 昌洋

大阪府臨床工学技士会学術委員会は平成7年に発足し14年目を迎えようとしております。昨年度の再編により循環、呼吸、代謝、清浄化、MEの各部門に分かれ現在17名の中で各部門を担当し、臨床工学技士のスキルアップを目指した勉強会等を開催しております。委員会では発足当初は学術セミナーや学術集会を開催し（現在は理事主動）、2006年度の清浄化部会セミナーや2007年度の血液浄化セミナー開催は以後例年行事として回を重ねております。2008年1月には府内外から講師陣を招き第4回学術討論会の開催、3月には大阪透析研究会学術集会内に当委員会の枠を頂き「知って得る透析技術Q&A」（代謝部門）と「大阪府下透析液実態調査結果報告」（清浄化部会）の講演を実施、10月には急性血液浄化セミナーの開催に至りました。

循環部門では心カテ、心肺、補助循環などシーンに応じた治療戦略に対応できる臨床工学技士を育成するため勉強会を3ヶ年計画で進めております。

呼吸部門ではスキルに応じた教育を実践し、今後は幅広い知識や技術を習得できるセミナーの開催を目指し鋭意活動中であります。

代謝部門による血液浄化セミナーは事前申込が殺到し急遽会場変更を余儀なくされる盛会で、看護師らの参加も多く臨床での共有知識を持つ下地作りに有意義な会でした。本年初開催の急性血液浄化セミナーも同様の盛会であり、血液浄化業務に従事する方々の知見向上意欲の強さを認識しております。

近年話題の透析液清浄化については清浄化部会を立ち上げ、府下195施設での同時生菌調査を実施しました。調査結果につきましては各種学会等で報告させて頂いております。今後は慢性腎不全患者様のためにも各透析室における品質の良い透析液を管理できるように探究し、啓蒙活動を継続して安全な透析医療に寄与できればと考えております。

ME部門では第5次医療法改正を受けた現場の対応策を検討すべく1日がかりの学術討論会、土曜日夕刻の勉強会など回を重ねながら府下の機器管理水準の向上を目指しているところであります。本年は府下550余りの全病院を対象とした機器管理実態調査を実施し、問題点の共有と解決策の提示をできればと考えております。

学術委員会は20代30代の若手会員主体の委員会ですが、基礎から系統立てた教育プログラム構築を目下の課題としております。地方連携も委員会活動の一環であり、大阪透析研究会に限らず北摂ME研究会やJaSECT近畿地方会、近隣府県技士会からもご支援を頂き、教育・学術活動の拡大を図る事が今後の目標であります。学術技能の技士相互の連帯交流を深め、学術技能の研鑽及び資質の向上に努め、地域の福祉、医療の普及発展に寄与することを目的とし、関係の皆様のご期待に沿うべく、活動してまいりますので、今後もより一層、ご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 【お知らせ】

### 第5回 大阪府臨床工学技士会学術討論会 開催！！

#### **「患者安全のための体外循環」**

当会学術委員会 循環器部門では、平成21年1月25日（日）に大阪市立大学医学部附属病院5階講堂に於きまして第5回学術討論会を開催いたします。今回は、患者安全のための体外循環をテーマといたしまして、教育講演とシンポジウムを企画しております。メーカーならびに各施設の臨床工学技士の先生方をお招きし、皆様方と活発な討論と情報交換の場となる充実した討論会を目指し、患者安全のための体外循環に関連する技術の研鑽および資質の向上に努めたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちいたします。

- 開催日時 平成21年1月25日（日） 13:00～17:30
- 会場 大阪市立大学医学部附属病院 5階講堂（会場席数：160席程度）
- コーディネーター 加藤貴充（大阪大学医学部附属病院MEサービス部）
- 参加費 正会員：1,000円、非会員：2,000円、学生：1,000円
- プログラム 教育講演：Endovascular Surgery  
シンポジウムⅠ：大血管手術の体外循環戦略  
シンポジウムⅡ：トラブルシューティング ～こんなトラブル経験しました～

## 第3回 透析液清浄化セミナー 開催！！

当会学術委員会 清浄化部門では、平成21年3月1日(日)に大阪市立大学医学部附属病院5階講堂に於きまして第3回大阪府清浄化セミナーを開催いたします。透析液清浄化を考えるうえでISOにより生菌数及びエンドトキシン値の国際基準案が出され、厳格な管理が必要となっております。大阪府清浄化部会としては、QODF (quality of dialysis fluid) の向上を求めて医療技術の研鑽と、知識の拡大、ならびに相互の啓発を計ることを目的としたセミナーを企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちいたします。

- 開催日時 平成21年3月1日(日) 9:30~16:00
- 会場 大阪市立大学医学部附属病院 5階講堂 (会場席数: 160席程度)
- セミナー長 南 伸治 (宝持会 池田病院 透析センター)
- 参加費 会員(他府県会員含む): 2,000円、病院関係者: 3,000円  
企業関係者: 4,000円、学生1,000円

---

### 施設紹介

## 医療法人野上病院

<http://www.nogami.or.jp/top.htm>



#### 【病院概要】

所在地) 大阪府泉南市樽井1-2-5

ベット数) 163床

診療科) 内科、外科、循環器内科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、リウマチ科、リハビリテーション科

関連施設) デイケアひまわり園、訪問看護ステーション、のがみ泉州リハビリテーションクリニック

病院紹介) 昭和55年開院以来、地域医療の拠点として、病院だけでなく、訪問看護、デイケアなどの関連施設と協調し、患者さまのQOLに合わせた医療を提供しています。

#### 【臨床工学技士の生い立ち】

人員の推移) 開院当初は臨床工学技士は不在でしたが、平成3年の透析室開設に伴い、1名の常勤採用



となりました。その後、平成13年同敷地内にのがみ泉州リハビリテーションクリニック透析室開院を機に採用が進められ、現在グループ合計5名の臨床工学技士が従事しています。

業務の変化) 1名の採用当初は透析室のスタッフとしての業務が主となっていたため、供給装置や患者監視装置のメンテナンスを中心に行っていました。人員の増加に伴い、また看護部からの要望もあり、平成16年より院内の医療機器の現状調査を行ない、透析関連以外の医療機器の管理がはじまりました。また当院在籍の臨床工学技士は1名のため、両施設にて共有しています輸液ポンプ等の定期点検は協力しながら行っています。

## 【業務内容】

### 1. 医療機器安全管理業務

医療機器安全管理室にて人工呼吸器、輸液ポンプ等の中央管理をし、定期的に点検を行っています。また麻酔器や血液浄化装置などは現場にて定期点検（消耗部品交換等）を行います。その他、定期的な勉強会の実施、院内委員会の参加や医療機器に関する資料の管理、情報提供など医療機器安全管理責任者としての活動も行っています。

### 2. 血液浄化関連業務

人工透析室の10床と急性期病棟で行っており、入院患者さまを中心に行っています。血液透析導入目的や緊急透析にも対応しています。特殊血液浄化（CHDF、血漿交換、LDL吸着、腹水濾過濃縮）も行っています。

### 3. ペースメーカ管理業務

ペースメーカ外来ではプログラマ操作を行い、情報を管理しています。緊急時には一時ペーシングの操作を行い、電池交換、植込術では清潔介助を行っています。

### 4. 人工呼吸器管理業務

使用中、使用后点検を実施し、常に安全に使用できるよう確認、準備を行っています。定期点検（使用時間経過による消耗部品交換）については臨床工学技士が行える機種のみ行っています。（一部はメーカー委託）

### 5. その他

P T A（シャント血管内拡張術）、右心内圧測定（心拍出量測定）、下大静脈フィルタ留置術等の介助を行っています。

## 【おわりに】

当院において、臨床工学技士は透析室のスタッフというイメージがありましたが院内の現状調査を行って以降、各部署の方々と接することにより、臨床工学技士は透析室以外のいろんな医療機器も管理しているとの認識がもたれるようになってきました。また、後押ししてくれるかのように、医療機器安全管理責任者の配置や医療機器安全管理料の設置など臨床工学技士の認知度も上がってきています。

しかしながら、医療機器を扱うが故のコストの問題がこれからの課題となっています。耐用年数を超過しながらも点検、運転とも問題ない医療機器の破棄のタイミング、または新規購入やレンタル器導入など、安全管理を求められる責任者として、施設長に状況報告と協力依頼をしていかなければなりません。各委員会や各部署の方々と相談し、長期的な安全管理の体制が整備できるよう、取り組んでいきたいと思っています。

<奥田重之 記>



## \*ご案内\*

### 第19回日本臨床工学会

主催：(社)日本臨床工学技士会、徳島県臨床工学技士会  
 会期：2009年5月9日(土)・10日(日)  
 会場：徳島県立産業観光交流センター(アスティとくしま)  
 テーマ：次世代医療機器への挑戦 ～臨床工学の立場から～  
 詳しくは、第19回日本臨床工学会HP  
<http://www.jacet19.jp/index.html> にてご確認ください。

### ☆共催セミナー☆

3/15 第72回大阪透析研究会  
 大阪府臨床工学技士会共催セミナー  
 会場：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

### ☆学術勉強会☆

3/22 ME基礎セミナー  
 詳細は後日ご案内致します。

### その他 勉強会(大阪府臨床工学技士会 後援)

- 病院における医療機器安全性確保対策講習会  
 主催：大阪府/大阪府医療機器安全性確保対策検討委員会、共催：日本医療機器学会  
 後援：大阪府臨床工学技士会 他  
 会期：2009年2月7日(土) 10:00~12:00 会場：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)12階 特別会議場  
 参加費：無料(事前申込が必要：詳しくは、<http://www.pref.osaka.jp/yakumu/kiki/anzen/anzen.html>)
- 第8回医療機器安全対策研究会  
 主催：日本医療機器学会 安全対策委員会 後援：大阪府臨床工学技士会 他  
 会期：2009年2月7日(土) 12:35~17:00 会場：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)12階 特別会議場  
 参加費：1000円(事前申込が必要：詳しくは、日本医療機器学会事務局まで TEL 03-3813-1062)
- 第36回日本血液浄化技術学会  
 主催：日本血液浄化技術学会(日本血液浄化技術研究会改め)  
 後援：大阪府臨床工学技士会 他  
 会期：2009年4月18日(土)、19日(日) 会場：神戸商工会議所およびクオリティホテル神戸

### メールマガジンのご案内

大阪府臨床工学技士会では、会員の皆様へのサービスの一環として、メールマガジンを配信しております。当会の学術集会、勉強会等のお知らせ、技士会活動の紹介、(社)日本臨床工学技士会からの情報や制度変更の情報をタイムリーにお届けしてまいります。正会員の皆様は、当会ホームページ(<http://www.osakace.com/>)のフォームへ必要事項をご記入になり登録をお願いします。

メールマガジン名： ◆大阪府臨床工学技士会 Mail News

配信時期：不定期

### お願い

大阪府臨床工学技士会では一人でも多くの会員様が增えることを望んでおります(平成21年1月5日現在：正会員528名、仮会員20名)。皆様方のお知り合いで、未入会の方がおられましたら、是非、ご入会をお勧めください。下記の大阪府臨床工学技士会ホームページから入会手続きができます。

<http://www.osakace.com/>

### 事務局からのお願い(自動振込口座登録のお願い)

入会次年度より大阪府臨床工学技士会年会費は日本臨床工学技士会同様に個人口座からの自動引き落としになっております。入会時に個人口座を登録されていない会員様は、ご登録の程よろしくご願ひ致します。詳細は、事務局までお問合わせ下さい。

### 大阪府臨床工学技士会 事務局

〒565-0871 吹田市山田丘2-15  
 国立大学法人大阪大学医学部附属病院  
 MEサービス部内  
 TEL: 06-6879-5095 FAX: 06-6879-5098  
 E-mail: [info@osakace.com](mailto:info@osakace.com)

### 編集後記

- ・ 次より通巻第12号をお届けします。
- ・ 編集委員を随時募集しています! 興味のある方は 下記アドレスまで連絡下さい!!  
 E-mail: [oknce-as@okn.gr.jp](mailto:oknce-as@okn.gr.jp)  
 (大阪厚生年金病院 勝賀瀬)